



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 伯東株式会社
 コード番号 7433 URL <https://www.hakuto.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 良二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 海老原 憲 TEL 03-3225-3412
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	75,619	4.6	1,653	△3.2	1,521	△3.4	1,014	△8.2
2020年3月期第2四半期	72,269	5.1	1,708	△12.7	1,574	△21.3	1,105	△17.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,478百万円 (896.4%) 2020年3月期第2四半期 248百万円 (△85.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	49.33	—
2020年3月期第2四半期	53.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	113,454	56,113	49.5	2,725.43
2020年3月期	112,135	54,011	48.2	2,627.76

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 56,113百万円 2020年3月期 54,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	20.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	△6.0	2,700	11.8	2,500	16.8	1,700	18.1	82.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	24,137,213株	2020年3月期	24,137,213株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,548,331株	2020年3月期	3,583,121株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	20,571,597株	2020年3月期2Q	20,554,210株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の影響により依然として厳しい状況となりましたが、経済活動の再開が段階的に進み持ち直しの動きも出てきました。

我が国経済においても、新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益の大幅な減少が続くなど、依然として厳しい状況となりましたが、個人消費や輸出が持ち直すことにより生産活動に回復の兆しが出てきました。

当社グループが主力事業を展開するエレクトロニクス業界においては、企業収益の減少や先行き不透明感の高まりにより設備投資は低調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴うテレワークの常態化によるPCやサーバーなどの需要拡大、さらに次世代通信規格「5G」の商用化により、半導体を始めとする電子部品の需要は堅調に推移しました。また、第1四半期に急激な減産を余儀なくされた自動車業界においても、第2四半期には国内及び中国市場における生産が回復に転じるなど、徐々に落ち着きを取り戻しました。

このような状況のもと、当社グループの電子部品事業においては、PC・タブレット端末向けICや5G関連の光部品の販売が期初より堅調に推移し、車載用途ICも第2四半期に需要が回復したこと、前期に獲得した自動車関連部品の新規商流等により、対前年同期比で増収となりました。

電子・電気機器事業においては、5G関連の光製品が伸長し、真空機器も堅調に推移しましたが、プリント基板製造装置の販売減少と化合物半導体製造装置の販売代理店権解消の影響により、対前年同期比で減収となりました。

工業薬品事業においては、化粧品基剤の販売が伸長し、水処理薬品等も堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、石油・石油化学分野と紙・パルプ分野向け製品及び商品の販売が減少したため、対前年同期比で減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は756億19百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

損益面につきましては、当第2四半期連結累計期間の連結売上総利益は86億94百万円（同4.8%減）となり、連結販売費及び一般管理費として70億40百万円（同5.2%減）を計上した結果、連結営業利益は16億53百万円（同3.2%減）、連結経常利益は15億21百万円（同3.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億14百万円（同8.2%減）となりました。

また、1株当たり四半期純利益は49円33銭となり、前年同四半期より4円45銭減少いたしました。

報告セグメント別の経営成績につきましては、次のとおりです。

[電子部品事業]

電子部品事業では、新型コロナウイルス感染防止対策としてのテレワークの常態化により、PC・タブレット端末向けICやコネクタ等一般電子部品が伸長し、5G関連の光部品の販売も堅調に推移しました。また、車載用途ICについては、第1四半期に自動車の急激な減産の影響を受けたものの、第2四半期には徐々に生産が回復したこと、前年度下期より本格的に取引開始となった車載向け新規商流等により、対前年同期比で増収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は617億18百万円（前年同期比8.5%増）となりましたが、半導体デバイス分野の収益性の悪化により、セグメント利益は6億11百万円（同4.9%減）となりました。

[電子・電気機器事業]

電子・電気機器事業では、5G関連や海底ケーブル等の通信インフラ向け光製品が伸長し、真空機器の販売も半導体関連向けに堅調に推移しましたが、プリント基板製造装置の販売減少と化合物半導体製造装置の販売代理店権解消の影響により、対前年同期比で減収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は84億14百万円（前年同期比13.9%減）となりましたが、前述の商品群の販売等による収益性の改善により、セグメント利益は6億10百万円（同13.2%増）となりました。

[工業薬品事業]

工業薬品事業では、化粧品基剤の販売が伸長し、水処理薬品等も堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、石油・石油化学産業における燃料油や紙・パルプ産業における印刷・情報用紙などの需要が減少し、これらの生産に関連する製品及び商品の販売が減少したため、対前年同期比で減収となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億73百万円（前年同期比2.5%減）となりましたが、収益性の高い化粧品基剤の販売伸長と出張旅費等の経費減少により、セグメント利益は4億77百万円（同2.4%増）となりました。

[その他の事業]

当社の業務・物流管理全般の受託と保険会社の代理店を主たる業務としております。当第2四半期連結累計期間の売上高は3億73百万円（前年同期比6.4%増）、セグメント利益は20百万円（同62.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して5億62百万円(0.6%)減少して965億83百万円となりました。これは手元流動性の確保により現金及び預金が22億33百万円、車載用途I C等の在庫増加により商品及び製品が25億75百万円、それぞれ増加した一方で、売上債権の流動化等により受取手形及び売掛金が31億27百万円、電子記録債権が14億69百万円、それぞれ減少したためであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して18億81百万円(12.6%)増加し、168億71百万円となりました。これは主に保有株式の株価の上昇により投資有価証券が22億22百万円増加したためであります。

以上のことから、当第2四半期連結会計期間末における資産の部全体としては、前連結会計年度末と比較して13億18百万円(1.2%)増加し、1,134億54百万円となりました。

負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末と比較して24億29百万円(5.5%)減少して416億55百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が21億10百万円減少したためであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して16億45百万円(11.7%)増加して156億85百万円となりました。これは主に長期借入金が10億60百万円増加したためであります。

以上のことから、当第2四半期連結会計期間末における負債の部全体としては、前連結会計年度末と比較して7億83百万円(1.3%)減少し、573億40百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して21億2百万円(3.9%)増加し、561億13百万円となりました。これは主に利益剰余金が6億3百万円、その他有価証券評価差額金が15億28百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは15億27百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは1億36百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは8億66百万円の収入となったため、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比較して22億33百万円増加し、当第2四半期末は169億70百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

車載向け電子部品事業の拡大に伴い、BCP(事業継続計画)の一環として当社グループが保有するたな卸資産は年々増加傾向にあります。当第2四半期連結累計期間においては、車載用途I C等の在庫増加によるたな卸資産の増加額27億12百万円、仕入債務の減少額25億42百万円等の支出要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益15億21百万円、売上債権の流動化等による売上債権の減少額44億97百万円等の収入要因により、営業活動によるキャッシュ・フローは15億27百万円の収入となりました。なお、前年同四半期にはたな卸資産の増加額等により4億61百万円の支出となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動として、主に新規事業に係る投資や工業薬品事業における製造及び研究設備の更新等の資本的支出を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、有形固定資産の取得による支出1億7百万円等により、投資活動によるキャッシュ・フローは1億36百万円の支出となりました。なお、前年同四半期には有形及び無形固定資産の取得による支出等により、3億8百万円の支出となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

事業拡大に伴う資金需要の増加に対して、主に有利子負債による調達を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、短期借入金の返済による支出(純)3億円、長期借入金の返済による支出18億47百万円等の支出要因がありましたが、長期借入による収入35億円等の収入要因により、財務活動によるキャッシュ・フローは8億66百万円の収入となりました。なお、前年同四半期には、長期借入による収入等により、20億16百万円の収入となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年7月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,736	16,970
受取手形及び売掛金	35,590	32,463
電子記録債権	6,435	4,966
商品及び製品	35,786	38,362
仕掛品	45	42
原材料及び貯蔵品	578	646
その他	4,025	3,175
貸倒引当金	△52	△43
流動資産合計	97,146	96,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	957	919
機械及び装置（純額）	1,879	1,762
土地	3,069	3,069
その他（純額）	996	852
有形固定資産合計	6,903	6,604
無形固定資産		
	333	330
投資その他の資産		
投資有価証券	7,188	9,411
繰延税金資産	206	229
その他	389	328
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	7,752	9,936
固定資産合計	14,989	16,871
資産合計	112,135	113,454

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,641	13,531
電子記録債務	2,878	2,314
短期借入金	20,919	21,212
リース債務	231	297
未払法人税等	458	485
賞与引当金	1,068	950
製品保証引当金	6	4
その他	2,880	2,859
流動負債合計	44,085	41,655
固定負債		
長期借入金	12,320	13,380
リース債務	214	60
繰延税金負債	1,085	1,863
役員退職慰労引当金	12	14
退職給付に係る負債	390	350
その他	16	16
固定負債合計	14,039	15,685
負債合計	58,124	57,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,289	7,267
利益剰余金	40,667	41,270
自己株式	△5,877	△5,820
株主資本合計	50,179	50,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,502	5,030
繰延ヘッジ損益	△6	△3
為替換算調整勘定	623	528
退職給付に係る調整累計額	△287	△261
その他の包括利益累計額合計	3,831	5,295
純資産合計	54,011	56,113
負債純資産合計	112,135	113,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	72,269	75,619
売上原価	63,134	66,924
売上総利益	9,134	8,694
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,357	2,431
賞与引当金繰入額	771	797
退職給付費用	219	212
その他	4,078	3,599
販売費及び一般管理費合計	7,426	7,040
営業利益	1,708	1,653
営業外収益		
受取利息	4	6
受取配当金	119	70
その他	63	59
営業外収益合計	186	136
営業外費用		
支払利息	24	80
売上債権売却損	47	21
為替差損	230	150
持分法による投資損失	8	11
その他	9	4
営業外費用合計	319	267
経常利益	1,574	1,521
特別利益		
固定資産売却益	0	—
その他	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
その他	0	—
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,578	1,521
法人税等	472	506
四半期純利益	1,105	1,014
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,105	1,014

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,105	1,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△510	1,528
繰延ヘッジ損益	1	3
為替換算調整勘定	△370	△94
退職給付に係る調整額	21	26
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△856	1,463
四半期包括利益	248	2,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	248	2,478

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,578	1,521
減価償却費	395	399
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△173	△117
受取利息及び受取配当金	△123	△76
支払利息	24	80
持分法による投資損益 (△は益)	8	11
固定資産除売却損益 (△は益)	1	0
未払消費税等の増減額 (△は減少)	5	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,281	4,497
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,051	△2,712
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,550	△2,542
その他	△650	863
小計	282	1,930
利息及び配当金の受取額	135	93
利息の支払額	△23	△84
法人税等の支払額	△855	△412
営業活動によるキャッシュ・フロー	△461	1,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△126	△107
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△134	△50
投資有価証券の取得による支出	△37	△7
投資有価証券の売却による収入	—	1
その他	△10	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	47,449	102,600
短期借入金の返済による支出	△49,700	△102,900
リース債務の返済による支出	△64	△75
長期借入れによる収入	5,500	3,500
長期借入金の返済による支出	△551	△1,847
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	0
配当金の支払額	△616	△411
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,016	866
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	△23
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,167	2,233
現金及び現金同等物の期首残高	7,608	14,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,776	16,970

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	56,871	9,777	5,611	350	72,611
セグメント利益	642	538	466	12	1,660

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	電子部品事業	電子・電気機器事業	工業薬品事業	その他の事業	
売上高	61,718	8,414	5,473	373	75,979
セグメント利益	611	610	477	20	1,719

2. 報告セグメント合計額と四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	72,611	75,979
セグメント間取引消去	△342	△360
四半期連結財務諸表の売上高	72,269	75,619

(単位: 百万円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	1,660	1,719
のれんの償却額	△5	△5
その他の調整額	53	△60
四半期連結財務諸表の営業利益	1,708	1,653

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。